

段階別ロードマップ

- ✓ 1. レンディング
- ✓ 2. コインニールのリステーイング
- ✓ 3. XXX / CNVの市場
- ✓ 4. Staking (ステーキングモデル)



1. レンディング

A. コインニールユーザーはBTCを担保にしてUSDTを借入することができる。

《 ポイント 》

中国を含む、コインニールの全ユーザー750万人がレンディングを利用可能なので、大きな利益（利息手数料）が発生する。
その一部をCNVのBuybackに使用する。

2.コインニールのリスティング

CNV使用と活性化のため、プロジェクトやユーザーもCNVを支払う事で、上場の申請が可能

※上場のリストとなる暗号通貨を、上場させることをリスティングと言う。

A. プロジェクトのリスティング

- ① コインニールに上場されれば、CNVの手数料が発生 – 継続的なBuy Powerになる。
- ② 現在、多くのプロジェクトからリストの要請があったが、CNV事業継続のために、しばらく保留になっていた。しかし、リストを活用してCNVのbuy powerを作る予定。

B. ユーザーリスト

- ① プロジェクトの要請だけではなく、ユーザーがコインニールに上場させることができ、ユーザがCNVを支払うことで、コインニールに新規プロジェクトを上場させることができる。
- ②リップルなど、必要な市場をコインニールに上場させるモデルである。

《 ポイント 》

個人ユーザーもコミュニティを作り、新規プロジェクトを上場させることができる
支払われた上場費用の利益の一部はCNVのBuybackに利用される。

3. XXX / CNVの市場

A. 上場申請されたアルトコインおよび上場済みの暗号通貨は、CNVとの組み合わせにて取引がされる。

- ① CNV市場をユーザーに提供することでCNVを活性化する。
- ② 今後、Stakingを通じたCNV市場に出てくる手数料受取など、ユーザーと一緒に作っていく方向性を検討。

例:

XRP/ CNV

ETH/ CNV

《 ポイント 》

- ・CNVの取引量と取り扱うユーザーが増えることによって、取引手数料が増える

4. Staking（ステイキングモデル）

A. CNV Stakingを介してCNV保有量を確保

① ステイキングでCNVをロックをかけることによって配当を受け取れる。取引所の取引手数料の一部が配当として受け取れる。

B. コインニール市場の活性化

① CNV 先物市場

アルトコインの先市場の活性化、今後アルトコインの先物市場有効時、これを通じてマーケットで出てくる手数料を一緒に共有する。

② CNV Binary Market

予測市場と呼ばれ、BTCが上がるかどうかBettingを通じ、より多くのCNVを受け取りすることができる。または、BTCでBettingし、手数料はCNVで支給する。

③ CNV 流通市場（Spot Market）

ユーザーを介してCNVマーケットに上場されたAltcoinの手数料を共有する。

《 ポイント 》

CNVホルダーが増え、売り圧力が減る。